

ごのへ議会だより

Gonohe Assembly News

第21回定例会（平成26年3月定例会）

平成26年度当初予算 …………… 2	委員の改選・議員活動報告 …………… 13
予算特別委員会 …………… 4	議会報告会の結果 …………… 14
議案等の審議 …………… 6	編集後記 …………… 16
一般質問（5人） …………… 8	

議会広報
平成26年5月
第11号



平成26年4月8日、五戸小学校に蛸川小学校・豊間内小学校・南小学校を統合。



平成26年4月8日、1年生71人を迎え、児童数450人となり三戸郡内でも最大規模の小学校となりました。

第21回 平成26年3月 定例会

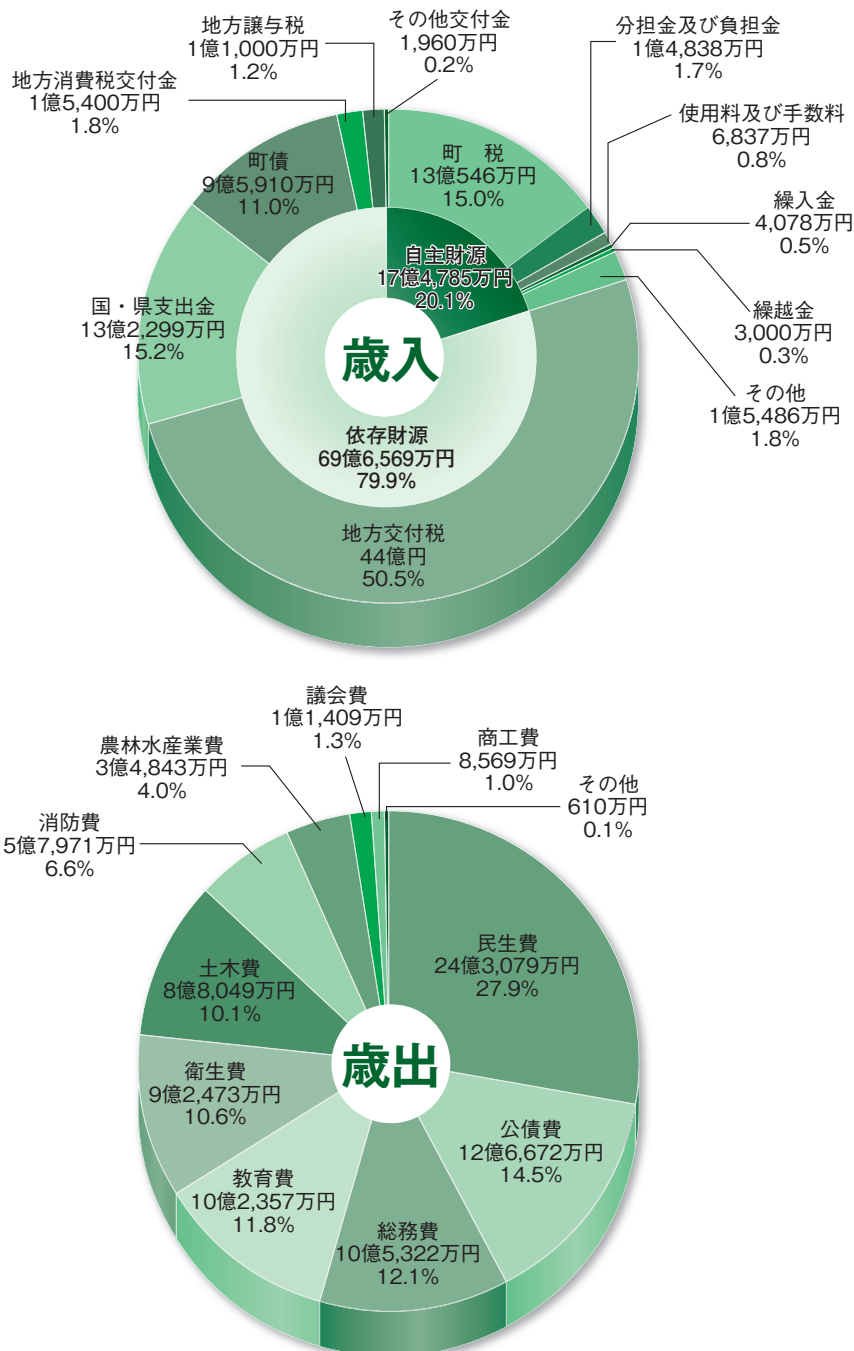
3月定例会は、3月6日から14日までの9日間の会期で開催しました。

5人の議員が一般質問を行ったほか、陳情1件、町長から平成26年度当初予算、平成25年度補正予算や条例の制定など29件の議案が提出されました。

平成26年度当初予算を可決

一般会計	87億1,354万円	前年度比	△14.5%	14億8,311万円減額
特別会計	59億7,737万7千円	前年度比	2.1%	1億2,570万2千円増額

一般会計予算内訳



前年度との比較

歳入

主な増額	
繰入金	1,516万円
町税	1,046万円

主な減額	
町債(借金)	11億7,170万円

自主財源	203万円減額
依存財源	14億8,108万円減額

歳出

主な増額	
消防費	1億9,384万円
防災行政無線施設整備工事費	2億93万円
民生費	5,264万円
臨時福祉給付金	5,000万円
土木費	4,952万円
除雪機械購入費	2,801万円

主な減額	
教育費	15億3,725万円
五戸小学校改築工事費	15億3,430万円
総務費	1億6,758万円
地域振興基金積立金	1億1,100万円
公債費(借金の返済額)	8,673万円

平成26年度の主な新規事業

- ☆防災行政無線施設整備工事 2億1,593万円
- ・倉石地区の防災行政無線をアナログからデジタル化し、五戸町の規格を一本化するもの。
 - ・防災無線操作卓を八戸消防本部へ設置し、24時間体制で火災発生等のサイレンの鳴動を実施してもらうための操作卓移設工事。
- ☆臨時福祉給付金事業 5,480万円
- ・消費税の引き上げに際し、低所得者に対し臨時的な措置として給付する経費で、100%国が負担。
- ☆除雪機械購入事業 2,857万円
- ・融雪剤散布車1台、4tダンプ1台
- ☆子育て世帯臨時特別給付金事業 1,930万円
- ・消費税の引き上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するため臨時的な措置として給付する経費で、100%国が負担。
- ☆戸籍電算化システム更新業務等 1,849万円
- ☆住民情報システム改修等業務委託料 1,447万円
- ☆川内支所・倉石支所洋式トイレ工事費 494万円
- ☆歴史民俗資料保存展示施設設置準備事業 452万円
- ・旧豊間内小学校空校舎の活用案として、歴史民俗資料館の整備を検討するための経費。
(検討委員会を設置し、視察等も実施予定。)
- ☆農地中間管理機構業務委託事業 266万円
- ・担い手への農地集積・集約化や耕作放棄地の解消を図るため、中間管理機構(仮称)の業務を一部受託する。

特別会計	予算額	前年度比	
		増減額	増減比
後期高齢者医療特別会計	4億3,940万円	1,588万円	3.7%
国民健康保険特別会計	25億5,012万円	3,907万円	1.6%
介護保険特別会計	22億1,541万円	4,551万円	2.1%
下水道事業特別会計	4億7,094万円	582万円	1.3%
農業集落排水処理施設事業特別会計	1億5,057万円	468万円	3.2%
簡易水道事業特別会計	1億650万円	1,114万円	11.7%
住宅用地造成事業等特別会計	1,675万円	0円	0.0%
ケーブルテレビ特別会計	2,770万円	360万円	15.0%

病院事業会計	予算額	前年度比	
		増減額	増減比
収益的収入	26億2,515万円	2,153万円	0.8%
収益的支出	30億6,460万円	2億321万円	7.1%
資本的収入	2億2,501万円	2,611万円	13.1%
資本的支出	4億2,504万円	1億2,343万円	40.9%

平成26年度当初予算を全議員が審査

平成26年度当初予算について、議員全員で構成する「予算特別委員会」を設置し、委員長に三浦俊哉議員、副委員長に中川原賢治議員を互選、平成26年度の一般会計・8特別会計・病院事業会計予算について審査しました。(委員会では議員のことを「委員」と呼びます。)

主な質疑

一般会計

支援金の内訳は

質問 三浦専治郎委員

地域振興力向上対策支援事業費支援金400万円の内容は。

答弁 新井田企画振興課長

このへ夏まつりのイベントに120万円、特産品販売促進事業に200万円、国際ミュージックフェスティバルに80万円を予定しており、県市町村振興協会から補助される。

防犯灯設置補助金の交付先は

質問 若宮佳一委員

省エネルギー型防犯灯設置補助金90万円は、どこに設置するのか。

答弁 倉橋総務課長

各自治会に対し要望を取りまとめしている段階で、設置場所は未定。

指定管理料増額の理由は

質問 大久保均委員

倉石温泉指定管理料が前年度に比べ230万円多くなった理由は。

答弁 中里福祉保健課長

燃料費の高騰、光熱水の値上がり、消費税の増税によるもの。

倉石温泉の料金は改定は

質問 尾形裕之委員

旧五戸町と旧倉石村の町民で料金が異なるが、その後どうなったのか。

質問 川村浩昭委員

倉石温泉と社会福祉センターの入浴料は指定管理料が25年度で終了するので、26年度に統一する予定だったと思うが。

答弁 中里福祉保健課長

今後検討します。

外出支援サービス事業をもっとPRすべき

質問 三浦専治郎委員

外出支援サービス事業の利用方法、前年度実績は。

答弁 中里福祉保健課長

利用方法は、町(福祉保健課)に登録し、サービスを受けるには委託先である社会福祉協議会へ連絡する。実績は、登録者98人、利用者72人。

シルバー人材センター連合会負担金とは

質問 尾形裕之委員

県シルバー人材センター連合会負担金とは。

答弁 新井田企画振興課長

26年度から負担金を納めて連合会に加入する。登録の窓口は、これまでと同じ八戸市シルバー人材センターとなる。

ブドロク牧場の状況は

質問 大沢博委員

放牧牛の頭数、キャトルセンターの利用率は。

答弁 小村農林課長

夏季放牧は70〜80頭で、利用率は約70%、120頭まで可能。冬季預託キャトルセンターの最多利用頭数76頭で、利用率は76%、100頭収納可能。

質問 大沢博委員

採算が取れないのでは。今後の運営は。

答弁 小村農林課長

預託頭数を増やすよう農家をお願いしていく。

農業経営基盤強化促進対策事業費の減額理由は

質問 三浦専治郎委員

農地集積協力金と青年就農給付金(経営開始型)がどちらも前年度より減額されているが理由は。

答弁 小村農林課長

農地集積協力金については、2月に農政改革の説明会を各地区で実施したが、農地の出し手がなかなか現れていないため最低の金額を予算計上した。26年度は農地中間管理機構が創設され、皆さんにご協力いただき予算額を超える場合は補正予算で対応したい。

青年就農給付金については、現在の受給者数と新規の予定者数で計上された。26年度は要件が緩和されるので、新規の就農を増やしていきたい。



ブドロク牧場

予算特別委員会

町村の魅力発信事業とは

質問 中川原賢治委員

町村の魅力発信事業委託料の事業内容は。

答弁 新井田企画振興課長

東京都中野区で実施される「青森人の祭典」等の特産品をPRするもの。

質問 川崎七保委員

「青森人の祭典」で五戸町のブースは裏通りに出店しているが、出店場所の確保の方法は。

答弁 藤村企画振興課長

(倉石地域振興公社担当) 場所は青森人の祭典実行委員会から決められてくる。

サッカー場の公認とは

質問 大沢 博委員

サッカー場人工芝ピッチの公認取得検査手数料、公認料、更新料を合わせて97万2千円とあるが、毎年必要になるのか。

答弁 小村教育課長

3年ごとに必要となる。公認を取ることで、公式試合に使用できる。

ひばり野公園遊具の増設を

質問 三浦專治郎委員

ひばり野公園の遊具を増やせないかとの要望があったが。

答弁 小村教育課長

25年度に老朽化した遊具を撤去し、新しい遊具を1基設置した。多くの種類を設置したいが、安全管理や維持管理を考えると検討しなければならない。



ひばり野公園

AEDの購入台数は

質問 大沢 博委員

AEDの購入費160万円は何台分か。

答弁 倉橋総務課長

4台を購入し、蛸川・越掛沢・粒ヶ谷地・手倉橋の消防屯所に設置予定。

閉校施設管理業務とは

質問 若宮佳一委員

閉校施設管理業務委託料の内容は。

答弁 小村教育課長

又重小学校跡地の芝生の管理等を又重地区振興会に委託予定。

豊間内小学校の桜の枝が隣接地に伸びているので伐採予定。

質問 若宮佳一委員

閉校施設の管理方法は。

答弁 小村教育課長

豊間内・蛸川・南小学校は4月で電気・水道を止める。日常の管理ができなくなるので錠錠し、使用させない。

電子黒板対応教材備品とは

質問 中川原賢治委員

小学校費と中学校費に電子黒板対応教材備品が計上されているがどのようなものか。

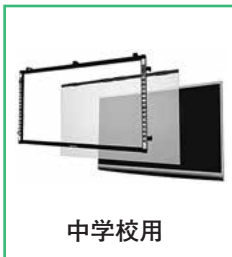
答弁 小村教育課長

小学校費は、パソコンとプロジェクターをつないで黒板に移すプロジェクターを各小学校の普通教室全部に設置予定。

中学校費は、テレビに後付けのフレーム(タッチパネルユニット)を取付け、テレビをタッチパネルのように使うフレーム式3台を五戸中学校に設置予定。



小学校用



中学校用

写真はイメージです

学校給食費の角型二重食缶とは

質問 若宮佳一委員

角型二重食缶とはどのようなものか。

答弁 小村教育課長

消費税増税後も給食費の値上げをしないように検討した結果、アルミ箔パックのご飯を止めて、食缶にご飯を入れて各学校に運び、食缶からお椀によそって食べてもらうこととした。そのため、食缶の購入費で62個、大きさも4種類を予定。

住宅用地造成事業等特別会計

上市川団地の状況は

質問 三浦專治郎委員

土地売却収入1674万円は何区画の販売を見込んでいるのか。

答弁 山下建設課長

4区画を見込んでいる。現在14区画が残っている。

病院事業会計

特定健診の受診率向上のための対策は

質問 若宮佳一委員

特定健診料の無料化や休日健診を実施しても、結果として受診率が上がらなければならない。受診者確保の対策は。

答弁 前田総合病院事務局長

病院としては、自己の健康状態を知ることの大切さを住民に周知し、自覚を求める指導・体制づくりをしたい。

将来的に介護・福祉・医療をトータルで考え、病気の予防について周知していきたい。

答弁 中里福祉保健課長

保健協力員や保健師が自治会等の集会にも積極的に参加し、特定健診の勧誘をしたい。

議案等の審議

陳情 1件

●特定秘密保護法の撤廃を求める意見書採択の陳情

・総務常任委員会へ付託

総務常任委員会の審査結果

不採択

審議の結果

全員反対で否決

町長提出案件

条例の一部改正 13件

●五戸町職員の給与に関する条例の一部改正

・青森県人事委員会規則の一部改正による通勤手当の支給対象の追加
・再任用職員（行政職）の給与月額の変更。

小・中学生の入院医療費を無料化

●五戸町乳幼児医療費給付条例の一部改正

・平成26年度から小学校就学から中学校卒業までの児童等の入院医療費を無料とする。

平成26年4月診療分から			
乳幼児	入院	保護者負担	無
	通院	保護者負担	無
児童等	入院	保護者負担	無
	通院	保護者負担	有

●五戸町町税条例の一部改正

●五戸町国民健康保険条例の一部改正
・2件は、地方税法等の一部改正に伴う条例の改正。

●五戸町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

●五戸町介護保険条例の一部改正

●五戸町都市計画下水道受益者負担に関する条例の一部改正

・3件は、保険料及び受益者負担の延滞金の割合を改正。

納期限から	本則	平成26年1月1日から
1か月以内	7.3%	特例基準割合1.9% + 1.0% = 2.9%
1か月经過	14.6%	特例基準割合1.9% + 7.3% = 9.2%

●五戸町簡易水道事業等給水条例の一部改正

●五戸町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

●五戸町下水道条例の一部改正

・3件は、使用料延滞金の割合を改正。

計算期間	本則	平成26年1月1日から
督促状の指定期限の翌日から料金の完納の日までの日数	14.6%	特例基準割合1.9% + 7.3% = 9.2%

●特例基準割合とは
各年の租税特別措置法の規定により財務大臣が告示する割合（現行0.9%）に1%を加算した額。

●五戸町病院事業の設置等に関する条例の一部改正

・特1床室の料金を2千円値下げ。

入院室料（1日につき）	
特1床室	5,400円（助産等は5,000円）
1床室	3,240円（助産等は3,000円）
特2床室	1,620円（助産等は1,500円）

・分娩料を4万円値上げし、八戸医師会で定めている料金と同額とする。

五戸総合病院 分娩料	
診療時間内	17万円
診療時間外	18万円
深夜・休日	19万円

消防団の年報酬を増額

●五戸町消防団員の定数、任免、服務等に関する条例の一部改正

・消防団の年報酬を改定。三戸郡内で統一。

団長	5万2,600円
副団長	3万9,500円
本部付分団長	2万5,900円
分団長	2万5,900円
副分団長	2万700円
班長	1万5,100円
団員	1万3,700円

●五戸町消防団の設置等に関する条例の一部改正

・消防組織法の一部改正に伴う条例の改正。

審議の結果

全員賛成で可決

議案等の審議

指定管理者の指定	
管理を行わせる施設の名称	指定管理者となる団体の名称
豊間内地区 コミュニティセンター	豊間内地区コミュニティ センター管理運営委員会
夢の森ハイランド	株式会社倉石地域振興公社
五戸町社会福祉センター 五戸町保健福祉センター 五戸町デイサービスセンター	社会福祉法人 五戸町社会福祉協議会
倉石温泉 倉石ふれあい体験の郷	北都ビルシステム株式会社
五戸町農産物直売施設	ふれあい市ごのへ
ひばり野公園 五戸町屋内トレーニングセンター 五戸ドーム ひばり野スポーツ交流センター 倉石スポーツセンター	公益財団法人 五戸町スポーツ振興公社

計画の一部変更等4件

- 五戸町・倉石村合併ま
ちづくり計画の一部
変更

- ・計画を6年間延長し、
平成31年度までの16年
計画に変更。
- ・事業内容の一部見直し。

指定管理者の指定

- ・期間は平成26年4月1
日から平成31年3月31
日までの5年間。

町道の認定

- ・5路線を町道に認定。

工事請負契約の一部 変更

- ・五戸橋橋梁補修工事
変更後契約額(税込)
6399万6450円
47万1450円増額

審議の結果

全員賛成で可決

除雪対策費を大幅増額

補正予算 10件

● 一般会計補正予算(第 5号)

- ・予算総額(補正後)
109億2258万3千円
- ・補正額(減額)
9214万6千円

主な増額

- ・ケーブルテレビ予備
送受信設備等整備工
事費
2678万円
- ・除雪機械借上料
2361万円
- ・住宅建設等工事費
1512万円

主な減額

- ・児童措置費
1163万円
- ・青年就農給付金
1125万円
- ・事務組合負担金(清
掃・消防)
4032万円
- ・農業施設災害復旧工
事費
1416万円

● 後期高齢者医療特別会 計補正予算(第2号)

- ・予算総額(補正後)
4億2771万2千円
- ・補正額(減額)
17万円

● 国民健康保険特別会 計補正予算(第3号)

- ・予算総額(補正後)
26億4095万円
- ・補正額(減額)
1億261万6千円

主な減額

- ・一般被保険者療養給
付費
7132万円
- ・保険財政共同安定化
事業拠出金
2233万円

● 介護保険特別会計補正 予算(第3号)

- ・予算総額(補正後)
23億3670万9千円
- ・補正額(減額)
280万1千円

● 下水道事業特別会計補 正予算(第3号)

- ・予算総額(補正後)
4億6059万6千円
- ・補正額(減額)
472万5千円

● 農業集落排水処理施設 事業特別会計補正予算 (第3号)

- ・予算総額(補正後)
1億4686万1千円
- ・補正額(減額)
95万8千円

● 簡易水道事業特別会計 補正予算(第3号)

- ・予算総額(補正後)
9433万9千円
- ・補正額(減額)
240万2千円

● 住宅用地造成事業等特 別会計補正予算(第2 号)

- ・予算総額(補正後)
1902万8千円
- ・補正額(減額)
497万6千円

● ケーブルテレビ事業特 別会計補正予算(第3 号)

- ・予算総額(補正後)
2715万1千円
- ・補正額(増額)
30万円

審議の結果

全員賛成で可決

他市町との協議の件等2件

● 青森県新産業都市建設
事業団に委託すべき事
業に関する計画の一部
変更に係る協議

・平成26年度の県及び関
係市町の負担額を定め
るもの。

● 定住自立圏の形成に関
する協定の変更
・八戸市と締結している
締結の一部を変更。

審議の結果

全員賛成で可決

地元の反対意見が多い採卵養鶏場計画を どのように進めるのか



沢田 良一 議員

町長 地元住民の理解が大事であり、
会社に対し誠意ある対応をお願いする

質問

有限会社ノースランドの採卵養鶏場の経過と地域住民の意見の集約をどのように進める考えか。

二浦町長答弁

平成25年2月12日付で五戸町上市川大字大タルミ及び越口地域に約50万羽の採卵養鶏場を計画しており、誘致事業認可に対する協力依頼があった。町では平成25年2月28日付で関係団体・自治会等の理解を得ること等の条件をクリアできれば、誘致企業の資格要件を満たすものと回答した。平成25年3月14日、議員全員協議会を開催し、計画の概要説明を実施。平成25年4月25日を皮切りに、これまで説明会を延べ7回、既設農場の見学会を2回実施。平成25年7月3日、議員と私も町幹部も階上町にある既設農場の視察を実施。平成25年12月6日、社長が来庁し、青森県環境

影響評価条例に基づく第2種事業の判定を受けたこと、事業着手を平成26年度からとして今後も地元住民の理解を得るための努力をする旨の正式な報告を受けた。会社には誠意ある対応をお願いする。

質問

計画地域の住環境への悪影響は確実で、その影響は広範囲である。農作物等への心配をする声もあり、地元の反対

意見に対しての町長の考えは。

二浦町長答弁

この問題は悪臭に尽きるものと考えられる。既設農場では100m位の距離に住宅もあるが、ほとんど苦情はないと聞いている。

養鶏場が県から認可された場合、町と会社で公害防止協定を結ぶことになるが、悪臭に関して一般的な協定より基準値を厳しく設定したい。



階上町にある同社の採卵養鶏場

産業廃棄物管理型最終処分場を 町長はどのように考えているか

町長 地域住民、関係団体と
会社との仲介役となる

質問

浅水地区・扇田地区の地域住民から、最終処分場ができることにより、生活用水・農業用水などの生活環境や農作物に悪影響が出るのではないかと心配する意見がある。

二浦町長答弁

この事業計画は、事務手続の申請から最終判断まで県が決定するものであり、町は中立の立場である。

町では会社からの各種法令に基づく県申請書等の副申(参考意見を述べること)を行っているが、申請先は県である。情報提供は随時受けており、技術的・専門的な事項以外は大方把握している。

各種関係法令が遵守されていけば行政として建設の是非について述べることはできないため、町ができることは会社への各種法令の対応、申請等に関する書類整備についての確認や地域住民と会社との仲介役を務めることになる。

新井田企画振興課長答弁

今後、会社では広範囲に住民説明会を開催したいと聞いており、説明会において会社から対策等の詳細な説明があるかと思う。

一般質問



三浦專治郎 議員

消防団員の処遇改善をすべき

町長 団員報酬を県平均まで引き上げる

役職名	現 行	改正後	増加額
団 長	45,800円	52,600円	6,800円
副 団 長	34,100円	39,500円	5,400円
本部付分団長	22,400円	25,900円	3,500円
分 団 長	22,400円	25,900円	3,500円
副 分 団 長	17,800円	20,700円	2,900円
班 長	14,100円	15,100円	1,000円
団 員	12,900円	13,700円	800円

質問 消防団員の現状と団員報酬は。

二浦町長答弁 高齢化とともに年々減少している。入団希望者がさらに減少している傾向にあり、団員数は条例定数570人に対し506人で64人不足している。平均年齢41歳11か月。被雇用者(会社員)率は80・63%。団員報酬(年額)は、県平均まで引き上げる改正案を今定例会に提案。

質問

国及び県の団員1人当たりの年額報酬算定はどのくらいなのか。

二浦町長答弁

五戸町はどうか。

平成24年度の国が基準として算定している人口10万人規模の消防費は11億3132万円で、五戸町に置き換えると交付税額は3億892万円となる。その上で、国が基準として算定している団員報酬、出勤手当は4436万円であり、五戸町に置き換えると1211万円となるが、五戸町の平成24年度の決算では2306万円で約1000万円を一般財源から充当している。

平成24年度の五戸町への消防費交付税額は3億892万円で、決算額は3億3113万円となっている。

質問

消防団員の処遇改善をどう考えているのか。

二浦町長答弁

厚生福利の面において、日本消防協会、青森県消防協会、青森県市町村総合事務組合の弔慰金、災害補償、退職報奨金制度等への加入などを行っている。

また、団員報酬の改定については、一般団員の報酬額をもっと高くすべきとの意見もあり、今後、三戸郡町村会の会議において当町が積極的に意見を発していくことで御理解願いたい。



五戸地区消防連絡協議会 観閲式

下水道より市町村設置型の合併処理浄化槽の設置を

町長 今後積極的に進めていく必要があると思う

質問

①公共下水道の現状は。

②下水処理施設整備計画は。

二浦町長答弁

①平成24年度末までの計画全体面積に占める整備面積比率は32・6%。

②人口減少や高齢化等の社会情勢の変化を反映し、平成23年に青森県汚水処理施設整備構想が見直された。五戸町は以前の構想と同じに、既に整備が完了している倉石4地区と浅水地区が農業集落排水事業の予定区域となっている。

質問

市町村設置型の合併処理浄化槽設置事業を進めべきでは。

山下建設課長答弁

国等の補助を受けるには年間20戸以上の設置が義務付けられるため、実施できる地域があれば検討する。小規模の集合処理施設事業もあり、それらも比較しながら今後検討していく。

町では、第2期計画が平成26年度で終了することから、次期計画

特養施設の更なる充実を



根森 隆雄 議員

町長 第6期介護保険事業計画を協議中

質問

24年度に1カ所、25年度に1カ所の特養施設、26年度に1カ所のグループホームが完成すると、入居待機者はかなり減るとは思われるが、入居した後でも約60人の入居待ち登録者がいると聞いている。

これからの高齢者の増加を考えると、入居待機者を大幅に減らすためには、さらなる3カ年計画が必要と思われる。介護保険料の増加などの難しい問題があると思われる

が、何とか実現してほしい。使う予定のない廃校跡地の有効利用ともなると思う。

三浦町長答弁

特別養護老人ホームの待機者の状況は、第5期計画時点での待機者は約60人で、2つの施設が完成し、入居すれば待機者の解消がかなり図られる見通しであった。

しかし、昨年7月開設後も入所できない人が多数いた。現在工事中の施設の開設後も、同じような状況となることが予想



6月に開設予定の地域密着型特別養護老人ホーム

される。

町では真に入所が必要な人を把握するため調査をしたところ、45人の入所が必要と判明し、6月に開設する施設に29人が全て入所しても、なお16人が待機者になると推測される。

介護の問題は、介護される側にとっても、介護する側にとっても大変切実なことであり、必要最小限の施設整備は行っていないかざるを得ないと考えており、現在第6期介護保険事業計画策定委員会において協議中である。

昨年度開設した施設と今年度開設する施設は、「地域密着型特別養護老人ホーム」で、
・入所定員が29人以下
・五戸町の住民のみが入所できる
・町に運営管理や指導などを行う権限がある
などの要件があります。

短命自治体の返上に対する

取り組みは

町長 特定検診の一部無料化

農閑期の月1回休日検診を検討

質問

五戸町は短命県青森の中でも特に短命な自治体である。食習慣や寒さなどの住環境など、さまざまな原因があると思われるが、新聞を見ていると50代、60代で亡くなる方がよく見かけられ、これも平均寿命を下げる原因と考えられる。

短命自治体の返上について、町ではどのように取り組んでいるのか。

三浦町長答弁

平成22年の死因では、働き盛りの50歳代から、60歳代の生活習慣病やがんによる死亡が男女合わせて34人となっており、確かに平均寿命を引き下げる要因となっている。

これにより生活習慣病予防のための特定検診やがん検診受診率向上、要精密検診者のフォローにより、早期病院受診の推進と治療の徹底を図れるよう、検診体制の強化を図る。

今後はさらなる健康づくり運動の支援策として、平成26年度より特定検診の一部負担金を無料とし、検診を受ける方々の経済的負担の軽減を図る。

また、住民の方々が受けやすい検診体制づくりとして、農閑期の8月から1月まで、月1回の休日検診を検討している。

一般質問



川村 浩昭 議員

今後の大雪対策は

町長 自治会等の協力を得ながら
雪置き場の設置等を検討する

質問

2月15日から16日にかけて、大雪に見舞われ、家から一歩も出られなかった人、仕事を休まざるを得なかった人がいたなど聞いている。

町民から様々な苦情が多々あったと思うが、当局はどのように考え、どのような対策をしたのか。

三浦町長答弁

全委託業者とともに、15日午後10時から除雪作業を開始した。今回は大量の積雪と重い雪質のため作業がはかどらず、また道幅が狭く通常の除雪機が入れない路線があったことなどから、除雪路線を一通り除雪するには17日までかかった。

しかし、十分な道幅が確保できなかったことから、その後も多くの苦情が寄せられ、担当課は2月末までその対応に追われた。

町の除雪は、道路除雪機41台、歩道除雪機7台、



除雪のようす

融雪剤散布車2台で、直営、委託合わせて50台で実施しているが、建設業者の保有台数が減少傾向にあり、運転者の確保も難しくなっていることなどから、機械装備の増強は困難な状況にある。

今後の対策として、住宅密集地などの道幅の狭い路線において、地元自治会等の協力を得ながら除雪作業のための雪置き場の設置等を検討する。

また、町民の除雪に関する理解を深め、除雪マナーの向上を図るための

質問

除雪機械に1人しか乗っていないことが道路の幅を出せない理由だと思ふが。

山下建設課長答弁

機械によっては今回のような大雪には対応できない機種もある。狭い路線は雪置き場の確保によって除雪作業の効率化を図っていく。

五戸橋工事終了後、

周囲に残骸を残さないように

町長 業者が処理するが、町もしっかりと監督する

質問

五戸橋の補強工事終了後、橋の周りの残骸、鉄筋、コンクリート破片等ほどの程度片付けるのか。

負業者が責任を持って処理し、原形に復旧することになっている。

工事等による残骸等を残すことのないよう、発注者側として現場の状況を把握して監督していく。

三浦町長答弁

工事により発生した残骸や仮工事等で利用した箇所については、工事請



補修工事が完了した五戸橋



大久保 均 議員

平成26年度の重点事業と新規事業は

町長 マイナンバー制度に対応したシステムの改修

質問

① 平成26年度一般会計予算

(1) 平成26年度重点事業は、
(2) 主な新規事業の内容とその財源内訳は。

② 各自治会より陳情や要望されている事業

(1) 平成17年から25年12月までの陳情、要望件数は何件か。

(2) 要望件数のうち25年度までに完了及び事業に着手した件数は何件か。

(3) 26年度実施予定件数は何件か。

(4) 要望された件数、全て実施すると、今後どの程度の年数が必要か。

二浦町長答弁

① (1) 災害対策事業、社会資本整備総合交付金事業（橋梁補修工事）、町営住宅ひばり野団地建設事業、少子化対策事業、老朽化してきている農業水利施設、農地の整備事業、特定健康診査の受診率の向上に力を注いでいく。

①(2)

主な新規事業の内容	予算額	財源	
五戸小学校改築に伴う外構工事等	1億3,700万円	合併特例債	1億3,050万円
倉石地区の防災行政無線のデジタル化 防災無線サイレン鳴動操作一本化に伴う操作卓の移設工事	2億1,600万円	緊急防災減災事業債	2億1,590万円
社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）導入に伴う住民情報システム改修	1,447万円	社会保障・税番号制度システム整備補助金	1,432万円
中市橋と蛸川橋の橋梁補修工事	8,209万円	・過疎対策事業債 ・公共事業等債 ・橋梁長寿命化補修事業交付金	1,610万円 1,130万円 5,330万円

② (1) (2) 総務課への要望は2件で全て完了。農林課への要望は7件で、5件は完了、2件は未整備。建設課関係の道路改良や舗装新設に関する要望は42件で、完了箇所は2件、工事に着手は7件。

② (3) 町道の道路改良や舗装工事は合わせて7件実施する計画。
② (4) 要望路線全ての詳細な現地測量はしていないので、延長や概算事業費等も出ていないため、予測は困難な状況である。

地方交付税の

今後の見通しと影響は

町長 平成27年度以降減少効果的・効率的な運営に努める

質問

地方交付税の算定替による優遇措置の期限切れを迎えるに当たり、地方交付税上乘せ特例措置期限終了後における

① 地方交付税の見直しは。

② 町政に及ぼす影響は。

二浦町長答弁

特例措置は、平成27年度は1割減少、28年度以降さらに2割ずつ減少、31年度で交付終了となり、

32年度以降は合併後本来の算定方法が適用される。

① 平成27年度は43億円、28年度は40億円、29年度以降は40億円を下回り、32年度には34億円となる見込み。

② 歳入に見合った歳出規模で財政運営を進め、

事業の精査や優先度を考慮した実施年度の先送り等の対応も必要になる。公債費の適正負担に留意し、交付税算入率の高い有利な地方債等を活用しながら、将来を見据えた計画的な財政運営を進め、効果的で効率的な財政運営に努めていきたい。

交付税の合併算定替による特例措置とは

合併年度及びこれに続く10年間は旧市町村が存続するものとして交付税額が保障されるが、その後5年間で段階的に縮減され、合併後16年で適応期間が終了となる。

五戸町では、平成25年度で5億1,300万円が増額（上乘せ）となっている。この増加額は平成16年度から26年度まで満額交付され、27年度以降は段階的に減少される。

委員の改選・議員活動報告

委員の任期満了により所属が変更となりました。

当町議会では、4つの常任委員会と議会運営委員会が設置されています。

また、議長の諮問機関として議会活性化検討委員会と五戸総合病院検討委員会を設置しています。

各委員会の任期は2年ですが、今回は議員任期満了の平成28年2月28日までとなります。

総務常任委員会

総務、税務、教育及び選挙に関する事務並びに他の常任委員会の所管に属しない事務。

委員長 大久保 均
副委員長 中川原 賢 治
委員 川村 浩 昭
委員 三浦 專 治 郎
委員 中里 公 志 郎
委員 三浦 俊 哉

経済常任委員会

産業経済、土木建設に関する事務。

委員長 沢 田 良 一
副委員長 古 田 陸 夫
委員 和田 寛 司
委員 根 森 隆 雄
委員 鈴木 繁 盛
委員 若 宮 佳 一

広報常任委員会

議会の広報に関すること。

委員長 根 森 隆 雄
副委員長 高 山 浩 司
委員 若 宮 佳 一
委員 松 山 泰 治
委員 沢 田 良 一
委員 柏 田 雅 俊
委員 三浦 俊 哉

民生常任委員会

社会福祉、消防、上下水道、総合病院、国民健康保険、老人保健及び介護保険に関する事務。

委員長 松 山 泰 治
副委員長 高 山 浩 司
委員 大 沢 博 司
委員 川 崎 七 保
委員 川 崎 七 保
委員 尾 崎 裕 之
委員 柏 田 雅 俊

議会運営委員会

議会の会期や議会運営、議長の諮問事項などについて協議を行っています。

委員長 若 宮 佳 一
副委員長 川 村 浩 昭
委員 大 久 保 均
委員 根 森 隆 雄
委員 松 山 泰 治
委員 沢 田 良 一

議会活性化検討委員会

町議会の活性化、情報公開、政策提言の推進などについて、調査・研究・協議を行っています。

委員長 三浦 專 治 郎
副委員長 沢 田 良 一
委員 大久保 均
委員 鈴木 繁 盛
委員 古 田 陸 夫
委員 中川原 賢 治
委員 中里 公 志 郎

五戸総合病院検討委員会

五戸総合病院の経営の改善や町民のための病院の実現に向けて検討を行っています。

委員長 大 沢 博 司
副委員長 松 山 泰 治
委員 和 田 寛 司
委員 大 久 保 均
委員 高 山 浩 司
委員 沢 田 良 一
委員 古 田 陸 夫
委員 三浦 專 治 郎
委員 中川原 賢 治

五戸小学校体育館視察

平成26年3月14日、新たに建設された五戸小学校体育館と南棟校舎の視察を行いました。



五戸地区議会議員協議会研修会

平成26年4月25日、新郷村において五戸地区議会議員協議会の総会と研修会が開催され、五戸町の議員は13人が参加しました。

講演
「松くい虫ってどんな虫？ ナラ枯れって何のこと？」

青森県産業技術センター
林業研究所
研究員 伊藤 昌明 氏
研究員 土屋 慧 氏

五戸地区議会議員協議会は、五戸町と新郷村の議員で構成されており、町村の区域を超える広域行政に関する調査研究や情報交換を行っています。

お詫びと訂正

第10号の議員活動報告の記事で、「産業廃棄物最終処分場建設計画現地視察」の日付を誤って掲載しておりました。正しくは12月17日です。お詫びして訂正いたします。

議会報告会の結果をお知らせします

町政に対する多くの質問、意見・要望が出されましたので、その一部を抜粋し、内容を要約してお知らせいたします。

町政への質問事項

Q 24年度決算で町税等の未収金の対応は。

A 税金 ①督促状 ②納税相談 ③催告書 ④呼出し状 ⑤電話や自宅訪問により催告。不在の場合は、納付及び納税相談を指定した「不在連絡票」 ⑥「徴収移管・差押予告通知書(最終)」 ⑦青森県滞納整理機構へ徴収を移管し、差押。不動産や動産は、原則として公売にかけ換価。税金以外 文書(督促状・催告書)・電話連絡・家庭訪問等。

Q 24年度決算で、①町債が184億円もあるが、返済方法は。②実質公債費比率低下の理由は。

A ①返済方法は、毎年度元金を同じ金額で支払う元金均等と毎年度利子を含めて同じ金額を支払う元利均等の2種類。返済する財源は、一般財源、減債基金等。
②主に元利償還金の減と一部事務組合等の地方債に充てたと認められる補助金又は負担金の減。

Q 行政改革はどうなったのか。

A ①職員の定員管理 退職者に伴う職員の不補充により職員数の減。平成17年から平成25年までの8年間で98人減少。平成24年4月の普通会計(病院・水道等公営企業除く)職員数は五戸町133人、類似団体別職員数は173人、五戸町の職員数は40人少ない。
②給与の適正化の見直し 平成17年度から平成24年度まで三役の期末手当2割削減。
③事務事業見直し コストを意識した効率的、効果的な行政運営を目指すため、平成17年度から五戸町事務事業評価制度を全職員が実施。分庁舎を廃止し、空施設を団体へ貸付。9校あった小学校を統廃合し、26年度には4校。町の各施設管理について指定管理者制度や民営化し、歳出削減。
④人材育成 青森県自治研修所での基本研修・選択研修に職員を毎年度参加。国の地方分権改革に伴う法律改正の内容把握や、接遇等の基本的知識・技術を学ぶため、毎年度職員研修会を実施。

Q コミュニティバスの評判は。

A 利用者の声は概ね好評。「通院、買物等において助かっている」「1乗車200円でも良いから制度と路線は廃止しないでほしい」との声もあり。

Q 太陽光発電に、①メリットがあるのか。②補助は。

③小学校に設置している太陽光発電の状況は。

A ①メリット 環境を汚さない、枯渇しない。充電などで経済的な面がある。非常電源に活用できる場合あり。節電を意識し、環境意識の向上になる。など
②補助 「住宅用太陽光発電システム設置補助金」制度を設け、募集件数は年間約50戸程度。
③小学校 発電した電力は、学校全体で使用する電力の一部として賄われ、電気料金の削減となっている。



五戸小学校に設置された太陽光パネルを議員も視察しました。

Q 町単独の農業政策がないのか。

A 現在実施している政策 農道維持管理用の砕石支給。農業用施設維持管理用の原材料支給。グリーンツーリズムの推進。農業関係協議会等への支援。

町政への意見・要望

意見・要望を町へ照会し、各担当課から対応について回答をいただきましたので、お知らせします。

なお、これらの回答について、議会でも検討しております。

Q 町で出している計画や活動報告を一括して閲覧できる場所を設置してほしい。

A【総務課】必要なものは広報・ケーブルテレビ等に掲載することを検討してまいりたい。一括管理し、閲覧可能な場所については、設置を考えておりませんので御了承ください。

Q 廃校利用について、自治会では町で予算を付けなければ見ていけない。

A【企画振興課】どのような利用を検討しているのかにより、どのような予算が必要なのか違ってくると思われますので、事前に相談することも可能です。

Q 農産物・特産物の販売ルートの確立、アンテナショップをつくり宣伝してほしい。

A【企画振興課】青森県や八戸農協、(株)倉石地域振興公社、産直等の関係団体と協力しながら、より多くの販売ルートを確認していきたい。首都圏等で物産展等の販売・展示などの機会がありましたら、積極的に出展してPRに努めていきたい。

Q (株)倉石地域振興公社 夢の森ハイランドについて、①マーケティングを考え直してほしい。②盗難事件はどうなったのか。

A【企画振興課】①平成25年度の終盤より、専門家の指導を受け実施しており、平成26年度も職員の再教育と経営改善に結びつくような専門家の指導を受けられるよう予算措置しております。

②議会でも説明させていただいておりますが、新たな進展はございません。

Q 個人でも6次産業をやれるように補助してほしい。

A【農林課】農業発展に繋がるような6次産業化であれば補助を検討させていただきます。

Q 浅水地区の田んぼは小さく、集積するのが難しく、農家が無くなるのでは。

A【農林課】地域がまとまって、ほ場整備を希望する場合は、ご相談いただければと思います。

Q 国道454号のコスモス団地入口のバス停の道路が狭く危険なので、道路を拡張してほしい。

A【建設課】現地調査測量を行っており、26年度は用地測量と用地取得の予定となっております。

Q 国道4号線から丸山建設方面に入り、新郷村へ向かう大型トラックが槍沢集落に入ってしまうので、標識を設置してほしい。

A【建設課】案内板の設置を検討します。



コスモス団地入口バス停付近

平成26年3月定例会(3/6~14)

議会傍聴者アンケート集計表

1. あなたの性別は？ 2. あなたの年齢は？ 3. 議会を傍聴したことがありますか？

男性	女性
3人	0人

50歳代	60歳代
1人	2人

初めて	1・2回
1人	2人

4. 議会の日程を何で知りましたか？(複数回答)

- ◎ 議会広報 1人
- ◎ その他(事務局へ問い合わせ) 2人

5. 五戸ちゃんねる(テレビ)で五戸町議会の一般質問を放送していますが、見たことがありますか？

- ◎ 見たことがある 1人
- ◎ 見たことがない 2人

6. 議会広報「このへ議会だより」を発行していますが、ご覧になっていますか？

- ◎ 毎号見ている 1人
- ◎ ときどき見ている 2人

7. 五戸町議会あるいは議会広報について、ご意見・ご要望などありましたら、お書きください。

- ◎ 議会ではデータの発表はニュースソースと表示(資料配布等)があると情報の共有化と見える化が図られる。他市町村の取り組みから学ぶとっと生き生きしてくると思う。町民参加の促進の必要性を痛感した。
- ◎ 議会広報、毎回興味を持って読んでいる。「五戸総合病院改革アンケート結果」を知り、考えさせられる。この結果を踏まえた、町民からの意見集約も必要ではないだろうか。

編集後記

3月に委員会の改編がありました。引き続き広報常任委員会の副委員長をさせて頂くことになりました。

創刊以来、副委員長として議会広報の編集に携わって参りましたが、今回で第11号目となります。

議会改革の一環として、議会広報の発行の他に、議会中継、一般質問での一問一答方式の導入、議会報告会など、町民の皆様が開かれた議会を目指して、全議員が一丸となって行っ

て参りました。その結果、五戸町の議会改革は、進んでいると言われている他市町村に、かなり近づいたのではないかと思っております。しかし、議会改革には

副委員長 高山 浩司

議会を傍聴してみませんか

6月定例会は6月12日開会予定です。

詳しくは議会事務局まで

TEL 62-2111(代表)

日程が決まりしだい「五戸ちゃんねる」、五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の広報は、平成26年8月発行予定です。

広報常任委員会

委員長 根 隆雄
副委員長 高 山 浩司
委員 若 宮 佳一
委員 松 山 泰一
委員 沢 田 良一
委員 柏 田 雅俊
委員 三 浦 俊哉